

個人と企業が協働する寄付活動の橋渡し

Philanthropy Bank
フィランソロピーバンク



事例紹介、今月は

フィランソロピーバンク「東日本大地震支援基金」(第一次寄付)

本基金でお預かりした義援金は、その時々々に被災地で必要とされる支援ができるよう、顔の見える関係づくりの中で、実効性のあるNGO・NPOに配分します。第一次寄付は初動支援を展開する3団体に配分しました。

寄付先

NPO法人アムダ (岡山市北区) 医療支援

NPO法人セカンドハーベスト・ジャパン (東京都台東区) 救援物資・炊き出し

NPO法人せんだい・みやぎNPOセンター (宮城県仙台市) 現地コーディネート・NPO支援

寄付先から届いたメッセージ



(写真左) 志津川小学校避難所にて / (写真右) 南三陸町で訪問医療

NPO法人アムダ

緊急医療支援チーム派遣に
役立てました

3月11日の大震災発生の翌日には、第一次医療チームを仙台に派遣。仙台の老人保健施設を拠点とした診療活動から、今回の支援が始まりました。数日後には岩手県にも医療チームを派遣。4月10日現在、のべ128名の医療従事者を派遣し、避難所での診療、巡回診療などを中心に活動しました。

今なお大きな余震が続く被災地では、精神的な疾患やストレスからくる疾患も多いです。そのため、医療支援と並行して、児童向けプレイルームを設けたり、ドッジボール大会、栄養プログラムを行うなど、直接的な医療活動だけでなく幅広い意味での医療支援活動を展開しています。今後も、現地のニーズに合わせた医療活動を続けていきます。(ボランティアセンター 広報室 谷 佳世さん)

NPO法人アムダ

相互扶助の精神に基づき、災害や紛争発生時、医療・保健衛生分野を中心に緊急人道支援活動を展開。世界30カ国にある支部のネットワークを活かし、多国籍医師団を結成して実施しています。
(所在地：岡山市北区)

くわしくは、www.philanthropy.or.jp/banknew

公益社団法人日本フィランソロピー協会